

米原警察署協議会議事録

開催日時		令和5年12月8日（金）午後3時30分～午後5時00分
開催場所		米原警察署 4階会議室
出席者	委員	藤本敦子会長、川瀬秀樹副会長、角田峰治委員、富田正子委員 馬淵英樹委員
	警察	署長、次長（警務課長兼警備課長）、会計課長、留置管理課長、 生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長
議事概要		<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から、「警察署協議会では、机上の議論だけでなく、現場に関する情報を警察と委員とが共有し、委員から家族や会社などへ情報を発信することで、地域との交流も深まり、互いにリスペクトでき、関係が築かれていくものと感じる。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、「本年の刑法犯認知件数は、前年とほぼ同水準に推移し、人身事故は減少傾向にある。また、本格的な冬の到来を控え、道路の雪寒対策が求められる時期となった。前回の協議会で通学路の安全確保に向けた雪害対策の提言を受けたことから、先般の滋賀県雪寒対策会議において、早急な対応による交通安全確保対策の推進を申し入れている。警察としても関係機関との連携を図り、雪寒対策に努めていく。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>～地域警察活動について～</p> <p>警察から、地域警察官の責務、地域課及び交番・駐在所の取組等について説明がなされた。その際、委員から、「交番・駐在所が不在時の対応をもっと地域に情報発信した方がよいのではないか。」、「警察から提供される情報紙については、自治体のみでなく、企業等からも配布することで周知拡大が図れるのではないか。」旨の提言がなされ、警察から、「不在時は、まず警察署で対応を図るため、電話等により連絡を頂きたい。不在時に関する対応要領は、これまでも広報紙等で発信しているが、引き続き、住民に分かりやすく情報発信させていただく。広報紙による情報発信についての管内企業への協力については、今後、より良い方法を検討させていただく。」旨の説明等がなされた。</p>

また、委員から、「しらしがメールや防犯アプリ等の登録に関する情報紙を学校側から保護者に配布することで、広く浸透が図られるのではないかと。また、各情報紙は、テーマを絞ることで、読み手側の理解が得られやすいと思われる。」、「情報紙は、文字数を少なめにし、ポスター的なレイアウトが効果的ではないか。」旨の提言がなされ、警察から、「来春から滋賀県警アプリの運用が開始されるため、参考としたい。また、啓発用ビラ等については、引き続き、分かりやすいものになるように心掛けていく。」旨の返答がなされた。

そのほか、委員から、「各地区に対する防犯・安全教室の実施日として、平日の機会を増やしてほしい。」、「金融機関に対する防犯訓練について、事前周知をせず、ブラインド形式による実施は可能か。」、「冬期は日没が早く、中高生の帰宅時間帯には幅が生じるため、パトロールの強化をお願いしたい。」旨の意見等がなされ、警察から、「防犯・安全教室の実施日は検討したい。」、「防犯訓練は、事前周知による訓練が妥当である。通学路警戒については、学校側から提供される下校時間帯表等を参考とし、最大限で実施していく。」旨の説明等がなされた。

4 その他

警察署協議会終了後、当署において、働き方改革の一環として開催中の文化祭を委員が観覧し、作品に対する審査及び投票を行った。